



国指定重要文化財 石馬

# 古墳時代の淀江 ～その個性と魅力 ふるさと淀江の宝を学ぼう

淀江は古墳の密集地。  
国史跡の向山古墳群は鳥取県西部を代表する古墳群で、本州唯一の石馬をもつ石馬谷古墳、金銅製冠や三輪玉など豪華な副葬品をもつ長者ヶ平古墳、巨大な切り石で造られた石室をもつ岩屋古墳など、注目すべき古墳が集まっています。  
それらの古墳は、他の地域の古墳とどう違うのか、その個性は何を物語るのか。  
そして、筑紫君磐井や継体大王とどういう関わりがあるのか。  
私たちのふるさとの活気あふれた風景に思いをめぐらせてみませんか。  
歴史は苦手という方にもわかりやすくお話しします。

参加費 無料  
定員 60名  
※要事前申込

令和4年

日時

11/12 (土) 午後2時～4時  
(開場 午後1時30分～)

会場

宇田川公民館 米子市淀江町中西尾466  
※駐車スペースが限られています。出来るだけ乗り合わせでお越し  
いただくか淀江町巡回バスどんぐりコロコロの利用をご検討ください。

講師

関西外国語大学教授 佐古 和枝氏



講師 佐古和枝氏

申込み方法

電話・FAX・メール等により、【①お名前 ②ご連絡先電話番号】を添えて  
11/10⑩までに、米子市淀江文化センターにお申込みください。

- 電話 0859-39-4050 ● FAX 0859-39-4051
- Eメール saname@yonagobunka.net <開館時間> 9:00～22:00 <休館日> 毎週水曜日

東大人文・淀江プロジェクトとは

1901年日本の考古学・人類学の草分けと評される坪井正五郎氏（東京帝国大学教授）は淀江町を訪ね、本州唯一の石馬に注目しました。また、長者ヶ平から発見された金銅製冠は、今も東京大学に保管されています。そのような縁もあって、東京大学文学部に、今年から当面5年間の予定で立ち上がった淀江研究のプロジェクトです。7月には、さなめホールにてスタートアップ・シンポジウムを開催しました。

感染症拡大  
防止のために

- 体調不良、37.5度以上の発熱がある方は参加をご遠慮ください。
- マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
- 会場内では、近距離や対面での会話など密集を避けてください。
- 今後の感染拡大状況によっては、内容を変更または中止させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

主催

東大人文・淀江プロジェクト

【東大問い合わせ先】 プロジェクト室(佐藤) ☎03-5841-4046 hsato@l.u-tokyo.ac.jp  
事務担当(土田) ☎03-5841-4028

共催

米子市、一般財団法人 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]

協力

NPO 法人 むきばんだ応援団、[古代淀江ロマン遺跡回廊] 推進会議